



ROTARY CLUB OF OSAKA JONAN WEEKLY BULLETIN

NO. 2687 2025-8-29

創 立 1969. 5. 30
幹 事 松 田 振 興

会 長 岡 部 倫 正
会報委員長 三宅 善太郎

Rotary
District2660



UNITE
FOR
GOOD

2025-2026 年度 RI 会長
フランチェスコ・アレツォ

RI 2660地区
大阪城南ロータリークラブ
事務所〒542-0012 大阪市
中央区谷町9丁目1番22号
NK谷町ビル407号
TEL (06) 6796-9898
FAX (06) 6796-9899
<https://osakajonan-rc.org/>
E-mail: johnan25@crocus.ocn.ne.jp
例会場シェラトン都ホテル大阪
上本町6-1-55
TEL (06) 6773-1111
例会日 金曜日 12:30

本日の例会

8月29日(第5例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

- 卓話「顔面神経のお話」 土井勝美会員担当
- 食膳 <フランス軽食 ロコモコ丼>

次週のお知らせ

9月5日(第1例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

- 表彰 ・ホームクラブ連続皆出席
- お祝 ・誕生日・結婚記念日・会社創立記念日・入会記念日
- 卓話「『ロータリーの友』について」 山本英樹雑誌・広報委員長担当
- 理事会 11:30~ シェラトン都ホテル大阪 3階 ホワイエ
- 食膳 <日本 重陽の節句料理>

次々週のお知らせ

9月12日(第2例会)

シェラトン都ホテル大阪 3階 志摩の間

- 卓話「秋の交通安全週間」
「免許証とマイナンバーカードの一体化について」
生野警察署 交通課 交通総務課 警部補 山内歩様
生野交通安全協会 専務理事 賀喜敏博様
(田中浩之社会奉仕委員長担当)

先週の記録

8月22日(第4例会)

ホテルグランヴィア大阪 20階 名庭

出席会員 25名(内免除会員 5名)

会員総数 43名(同上 15名)

ゲスト 0名

ビジター 0名

計 25名

ホームクラブ出席率 75.75%

8月1日(第1例会)補正出席率 94.44% (MU0名)

ゲスト&ビジター

吉川健之様(ガバナー)

<4つのテスト> 言行はこれに照らしてから

真実かどうか

みんなに公平か

好意と友情を深めるか

みんなのためになるかどうか



2025-26 年度 ガバナー公式訪問合同例会

国際ロータリー第 2660 地区 ガバナー 吉川健之様

第 2660 地区の 2025-26 年の活動スタンスを伝えさせていただきます。

Enjoy Rotary through learning & personal exchanges.

学びと交流を通してロータリーを楽しもう。

今やらなければいけないことは、クラブの活性化、すなわち地区の活性化です。

そしてキーワードを 2 つご紹介します。温故創新、そして交流であります。

ロータリー 100 年を超える歴史があります。伝統と歴史から学ぶものもとても多くあります。

そうしたところから、ロータリーのど真ん中にあるもの、思いや考えをしっかりと学びながらも、今の時代にふさわしい行動様式や、一部、思考パターンも変えていかなければ、環境変化に対応できないことは明らかです。

皆さんと一緒に、ぜひチャレンジをしていきたい。そしてチェンジしていかなければいけない。行動方針であります「より大きなインパクトをもたらす」「適応力を高める」という意味においてもでもあります。温故創新の精神で存分にチャレンジ・チェンジしていきたい。

次に、交流についてであります。

地区内において新たな交流の機会を創出していきたいと考えています。クラブの活性化も目指さなければなりません。

今年度から交流活性化委員会を新設させていただきます。

異なるクラブ同士が、それぞれの奉仕活動や趣味などを通して交流をする。そしてクラブのみならず、地区全体で交流が活性化する。そうすることで、ロータリーの会員であることの楽しさ、価値が増していく、ということで、地区全体が活性化するということを願っています。

地区における親睦・交流を交流活性化委員会が主催するものではありません。あくまでバックアップしていくということであります。

地区内では囲碁大会を開催したいと思っております。また、さまざまな同好会活動を、新たにつくった地区のウェブサイトで共有していきたい。

さらには、ボウリング大会も開催したい。参加することでポリオ活動や子ども食堂への支援にしていける形にしたいと考えております。地区内には子ども食堂支援を行っているクラブが多くあります。

以上を踏まえ、地区の年次目標は以下の通りであります。

「より大きなインパクトをもたらす。」当地区は補助金の活用度合いが全国の中でもトップクラスだと財団委員の方からレクチャーを受けました。より早く、自発的に大きなインパクトを呼ぶ、小さなことでもいいですから、財団補助金を使った活動を目の前で、喜びを共有できるような補助金であれば、なお素晴らしいと思います。そうして奉仕活動がインパクトにつながるようなことが実現できればいいなと思っています。

財団寄付目標であります、年次寄付目標：150ドル、ポリオプラス：50ドル、恒久基金寄付：30ドル。ローターアクトクラブにも100ドルが求められていますのでぜひお願いします。

参加者の基盤を広げるということでは、衛星クラブの新たな立ち上げや新クラブ立ち上げにチャレンジしていただきたいなと思っています。そうして積極的な交流を促進するための合同例会の機会も増やしていただきたいと思っています。交流によるクラブの活性化を促進してほしいという思いであります。

さて、各クラブがそれぞれ素晴らしい活動をされていることを実感しております。

例えば、米山奨学金制度。

先日、関西米山学友会40周年の式典に出席してまいりました。学友が現役の奨学生をフォローしています。このような活動が事業を支えているのだと思いました。

そして、インターアクト。去る6月にインターアクトクラブを擁する各学校を訪問してまいりました。

各校共にロータリークラブへは大変好印象を持たれていました。

例えば、昨年度の尾身茂先生への対談は貴重な経験となったとのこと。また、大阪・関西万博テーマウィーク「平和と人権」では世界に生徒が発信する機会を与えられ、大変名誉なことだと。このテーマウィークについては、みなさんも地区のウェブサイトから視聴登録をお願いしたいです。ただ、これらの素晴らしい活動には、資金とマンパワーが要ります。ロータリーの最大の資産は会員そのものであります。

したがって、会員増強が求められるのです。地区の会員数は5500人から3500人に減少しています。

最後、お願いばかりになりましたが、何とかしてクラブと地区を盛り上げていきたいと思っています。一年間よろしくお願い申し上げます。

(ガバナー講話の原稿が長文の為編集しています。
原文をご希望の方は会報委員迄)



8月のロータリーレート
1ドル=149円

(編集担当 山本(哲)・楳垣)

8月は 母子の健康月間